

2022年11月29日

リコー、大阪・関西万博 テーマ事業「いのちを高める」への協賛が決定

株式会社リコー(社長執行役員:山下 良則)は、このたび、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のテーマ事業「シグネチャーパビリオン」の中で、中島さち子氏(音楽家、数学研究者、STEAM 教育家)がプロデューサーとして担当する「いのちの遊び場 クラゲ館」(当パビリオン)に、パートナーとして協賛することが決まりましたので、お知らせします。

リコーは創業100年を迎える2036年に向けて、「“はたらく”に歓びを」というビジョンを掲げています。業務の効率化や生産性向上を超え、はたらく人が人ならではの創造力を発揮することで、充足感や達成感、自己実現の実感につながる、“はたらく”の変革をお届けすることが使命であると考えます。また、一人ひとりがイキイキと働き、個人およびチームとして最大のパフォーマンスを発揮し、新たな価値を生み出し続けることができる働き方を支援することで、働きがいと経済成長が両立する持続可能な社会への貢献を目指しています。

「“はたらく”に歓びを」をビジョンに掲げるリコーにとって、当パビリオンのコンセプト「ワクワク!を探す旅へいのちが踊る、いのちが歌う、いのちがひらく。生きている!という感覚の発露」は、中島さち子氏の「人」に対する真摯な想いが感じられるものとして、協賛の大きな動機付けとなりました。

今回の協賛を、“はたらく”に関する領域はもちろんのこと、“はたらく”の枠を超えた貢献領域を見つけるための新たな挑戦と捉え、中島さち子氏の想いや信念に共感する他の企業・団体・個人のみなさまとの共創を進めてまいります。

■大阪・関西万博 開催概要

テーマ:いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ:いのちを救う、いのちに力を与える、いのちをつなぐ

コンセプト:未来社会の実験場

実施期間:2025年4月13日(日)～10月13日(月) 184日間

想定来場者数:約2,820万人

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL:050-3814-2806(直通) E-mail:koho@ricoh.co.jp

開催場所:大阪・夢洲(ゆめしま)

URL:<https://www.expo2025.or.jp/>

■「シグネチャーパビリオン」

大阪・関西万博を象徴・代表するテーマ事業として、8名の専門家がテーマ事業プロデューサーとなり、8つのパビリオンが展示されます。プロデューサーそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」として、「シグネチャーパビリオン」と名付けられ、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々につなぎ渡すパビリオンが建設されます。

■パビリオン名及びテーマ事業名、テーマ事業プロデューサー

・Co-being

「いのちを響き合わせる」 宮田 裕章氏(慶応義塾大学教授)

・いのちの未来

「いのちを広げる」 石黒 浩氏(大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所客員所長)

・いのちの遊び場 クラゲ館

「いのちを高める」 中島 さち子氏(音楽家、数学研究者、STEAM 教育家)

・null²

「いのちを磨く」 落合 陽一氏(メディアアーティスト)

・いのち動的平衡 I am You

「いのちを知る」 福岡 伸一氏(生物学者、青山学院大学教授)

・いのちめぐる冒険

「いのちを育む」 河森 正治氏(アニメーション監督、メカニックデザイナー)

・EARTH MART

「いのちをつむぐ」 小山 薫堂氏(放送作家、京都芸術大学副学長)

・いのちのあかし

「いのちを守る」 河瀬 直美氏(映画作家)

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、お客様のデジタル変革を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2022年3月期グループ連結売上高1兆7,585億円)。

imagine. change. 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、[ワークプレイスの変革](#)を通じて、人々の生活の質の向上、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>